

## G6エリアA9タンクフランジ部からの水の滴下について(続報)

< 参考資料 >  
2017年6月5日  
東京電力HD株式会社

### ■ 概要

- 平成29年6月4日，G6エリアA9タンク底板から二番目のフランジ部より5～7滴/1秒程度で水が滴下していることを，タンクパトロール中の協力企業作業員が発見。
- 滴下した水はタンク内堰の中に留まっており外部への流出はない。
- 当該タンクの水は，ストロンチウム処理水で推定漏えい量は約45L、現在G6エリアC8タンクへ移送中。

### ■ 時系列

#### 【6月4日】

- 16：05 協力企業パトロール員がG6エリアA9フランジタンクの第二フランジ部より5～7滴/1秒程度の水の滴下を発見
- 16：12 協力企業作業員から復旧班長へ連絡
- 16：22 G6エリア外堰の排水弁を閉止
- 17：25 滴下水を受けるためのビニル養生を実施。滴下した水は仮設タンクに受ける処置を実施。滴下量は5～7滴/1秒程度で変化なし

#### 【6月5日】

- 06：30 G6エリアA9タンクからG6エリアC8タンクへ移送開始
- 09：30 内堰内の水の汲み上げを開始。汲み上げた水は、角形鋼製タンクに移送し、その後タービン建屋に移送開始

# 発生場所等

## ■ 漏えい量（推定）

➤ 約 4 5 L（現場状況より約 9 L / 時間 \* 約 5 時間）

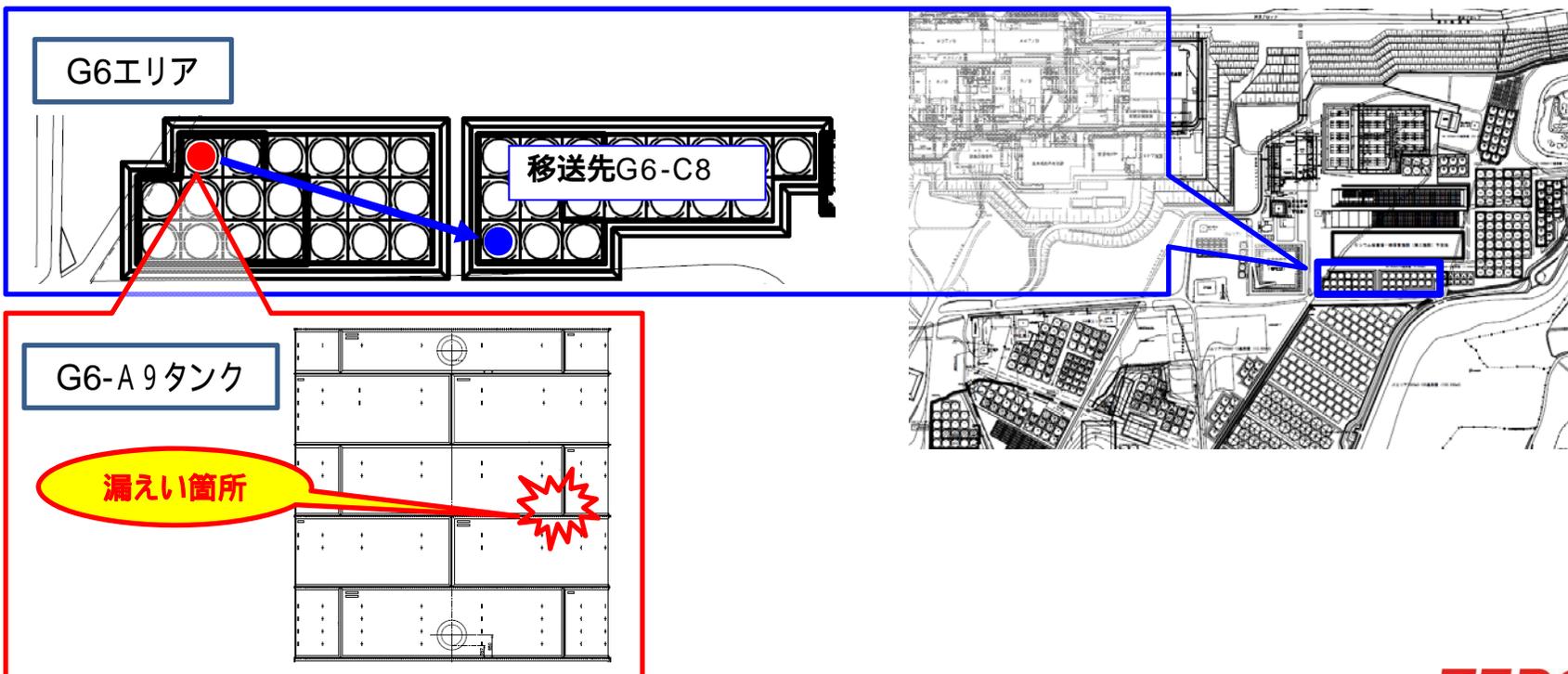
12時頃から開始した前回パトロールでの確認時（12:40）から養生完了（17:25）までの時間

濃度（単位：Bq/L）

滴下水：セシウム134検出限界値未満    セシウム137     $8.8 \times 10^1$     全ベータ     $5.4 \times 10^6$

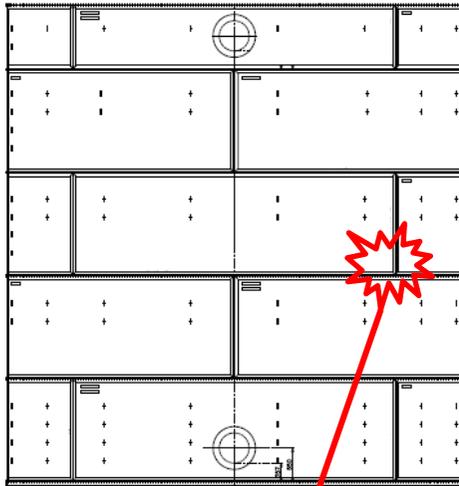
堰内水：セシウム134検出限界値未満    セシウム137     $7.8 \times 10$     全ベータ     $1.4 \times 10^5$

【 G6エリアA9タンク漏えい箇所】



# 漏えい・応急処置状況

G6-A9タンク



漏えい箇所

養生実施



滴下養生



仮設タンク設置